

まつのみ

第 28 号 平成 26 年 11 月 7 日
発行元 社会福祉法人まつのみ福祉会
発行人 郷渡 茂治
〒580 - 0023
大阪府松原市南新町 1-10-2
TEL072-336-3233 FAX072-334-6466
<http://www.matsunomi.com>

老いの現状と課題

世界でもトップクラスの高齢化が進むわが国で、入所更生施設に暮らす 60 歳以上の知的障がい者の比率は、1985 年は 2.3%であったものが、2001 年は 10.6%、2006 年は 14.3%と着実に増加しています。

加齢は、それに伴うさまざまな生活機能の変化をもたらします。これは、性別や障がいの有無にかかわらず、程度や現れ方の差異はあるものの、だれにも分け隔てなく、確実に現れます。障がいのある人では、さらに顕著に現れることもあります。従来からある、障害に伴う生活や社会活動などの制約や制限が、加齢によってさらに拡大し、障がいの重度化と重なっていきます。障がいのある人の高齢

化による生活は、個々の障がい特性とともに多様に変化します。加齢に伴う生活機能、特に心身機能の低下は新たな生活障害を作り出します。日常生活での主な身辺動作や活動、社会生活への参加などに急激な変化はないものの、少しずつ不自由さや困難性が増え、見守りや介助などの具体的支援が不可欠となり、さらに体力や運動機能の低下も現れてきます。

また、家族介護者の介護状況によっては家庭崩壊、個別支援の必要増と施設など集団生活の限界など、これらの状況は、これまで家族や支援者と培ってきたさまざまな生活形態や生活方法の、見直しや作り直しが必要となってきました。

そう考えると、障がいのある人のライフステージに沿った支援体制として、

今あるもろもろの障がい者支援施策は、有効なものになっていくのでしょうか。40 歳以上であることを条件に、障害のある人がそれまで個別具体的に提供されてきた生活支援の手立てを、介護保険へ優先化する原則は、今一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

老いのあり方は、個性があり、本人が選び決定することができま。そして、これらは障がいの有無にかかわらず、私たち共通の老後のあり方の基本です。

萩原



カーサはるかぜ』とよびます

カーサはるかぜ」の開所より半年がたちました。入居者さんもすでにホームでの生活を楽しんでいただいているようです。はるかぜでは週末など天気の良い日にはすぐ裏を流れる大和川の土手まで出かけています。気分転換や運動不足解消につながればと思います、世話人と一緒にほのぼのと過ごしてもらっています。

府営住宅のホームでも、余暇活動にお菓子作りや季節ごとに部屋の飾りつけなどを行っています。これからも面白い物や散歩など、入居者さんが楽しめるようなイベントをしていきたいと思っています。

《募集》

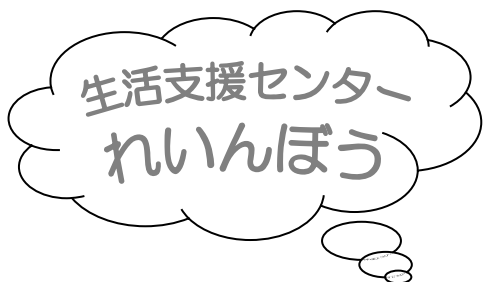
カーサでは、まだまだ世話人さんの人数が足りません。

皆様の周りで、知的障害の方の支援にご興味のある方はおられませんか？
現在は19歳〜70代の方まで様々な年代の方が世話人さんとして活躍していただいています。

ご興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております！

地域生活支援センター カーサ

072-3336-3355



～基幹相談支援センターへ～

生活支援センターれいんぼうは、平成 26 年 10 月より、地域で暮らす障がいのある方とご家族の地域生活を支えるため、障がいのある方の相談支援を総合的に行う「松原市障害者等基幹相談支援センター事業」の委託を受けることになりました。

障がい種別を問わず、地域で安心して生活をしていくことを支える相談支援を行い、権利擁護や虐待防止にかかわる相談もお受けします。

連絡先

TEL 072-336-3240 / FAX 072-334-6466

開設日時：月曜～金曜 9:00～17:00

(時間外・土日祝・年末年始はお電話での対応となります)

※ご相談内容によっては、地域の相談支援事業所にご紹介させていただく場合があります。

※ご相談にかかる費用は無料です。

今年は和歌山県への旅です。一日目は、伝統工芸のお盆の色付け体験をしたり、湯浅醤油の蔵を見学し醤油が出来る工程を学びました。そして一番記憶に残っているのが、船の中から海底が覗けるグラスボートです。ガラス越しに見える魚たちや海女さんにあがる歓声と、それどころではない絶賛船酔い中の人たちとに分かれ、騒然とした船内でした。

二日目のアドベンチャーワールドでは、各々班に分かれて関心のある場所を回りました。その中でもお土産を選ぶのが好きな方が多く、ご家族へのお土産だけでなく、普段お世話になっている方々にも買われる方がたくさんいて、いつも感心させられます。今回も皆さんたくさんの土産袋を持って帰宅されていました。皆さんの楽しい思い出がまた一つ増えていけば幸いです。

それぞれの旅行記



みなさんが待ちに待った今回の旅行先は、石川県にある山中温泉です。バスの中では、おしゃべりに花が咲いたり窓から見える景色を眺めたり持ってきたお菓子をみんなと分け合ったりと、おもいおもいに過ごしていました。

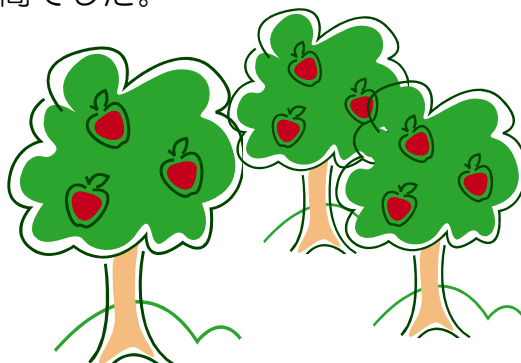
一日目は越前松島水族館。ペンギンの行進があったり、イルカの水槽では手招きでよって来てくれたりと、親しみのある水族館でした。旅館に着いてお風呂で汗を流したあとは、みなさんお楽しみの宴会です。日本海の海の幸の数々などおいしい料理を楽しみ、食事すすむとカラオケの時間です。曲に合わせて歌ったり踊ったりと、あっという間に時間が過ぎました。

二日目は自動車博物館でたくさんのレトロな車を見たり体験したり、越前竹人形の里では竹人形作りをしました。帰りの車内では、楽しみ疲れて眠ってしまう方たちもいる中「楽しかったね」「来年はどこに行くの？」などまだまだ元気な会話はずんでいました。



今年は、岐阜・長野方面へ行ってきました。長野と言えはりんご。そんなわけでりんごジャム作りとりんご狩りをしました。まずはジャム作り。りんごをすりおろして、火にかけて、まぜてまぜて…交代しながら更にまぜて…ある程度煮詰まった所で、ひとまずジャムはおいでりんご狩りへ。一面に広がるりんごの木からおいしそうなりんごを探して狩って、いただきます！もぎたてのりんごの味は格別です。と、狩って食べてしている間にジャムも完成。こちらも絶品の出来上がりでした。

他にも、目の前の鉄板でシェフが腕をふるった料理を堪能したり、『ヤンマーミュージアム』で耕運機に乗ってみたり、『日本昭和村』や『妻籠宿』で風情に浸ってみたり…と盛りだくさんの二日間でした。



まつのみの お米

新米入荷!! (o°▽°)o

お待たせしました！

26 年度産新米の販売を開始いたしました！

今年の新米のできも良さそうです

『飛騨産こしひかり』は例年同様おいしく出来上がっています。

また『香川県産ひのひかり』は一等級にせまる出来だそう
で、みなさまに食べていただけるのを楽しみにしております。



26 年度産新米価格

こしひかり 5 ㌔	1,750 円	ひのひかり 5 ㌔	1,500 円
2 ㌔	800 円		

工房まつのみ

あっという間に一年がたとうとしています。この時期になると恒例のカレンダー製作もはじまっています。来年の干支はひつじということで、どこからどう見てもひつじにしか見えないマスコットをあしらったかわいいカレンダーと、大好評をいただいております押花入りのカレンダーのご紹介です。

毎年リピートでご購入いただいている方も多く、一年を通してご愛用していただける商品です。私たちも気持ちをこめて作製しております。みなさまぜひ、一度ご覧になってください。この時期の贈り物にもうってつけです。

